2019 ブリヂストンワールド・ソーラー・チャレンジ

参戦発表会

2019年9月3日 (火)

湘南校舎 Science Park Techno Cube オープンマルチアトリエ

総監督 佐川 耕平(工学部電気電子工学科助教)

学生代表 武藤 創 (工学部動力機械工学科4年)





参戦目的

太陽光発電をはじめとするエネルギー技術の普及を加速させる

大学と企業の枠を超えて開発したソーラーカーで世界に挑戦

Bridgestone World Solar Challenge





1987年に始まった世界最高峰のソーラーカーレース

世界23カ国47チームが参戦

※ World Solar Challenge HPより引用



参戦チーム









※ Facebookファンページより引用

チーム

1991年にソーラーカープロジェクト発足



2011







2015

2017



2009



World Solar Challenge (オーストラリア)

Sasol Solar Challenge (南アフリカ)

Carrera Solar Atacama (チリ) 総合優勝 準優勝 3位

2回 1回

10

総合優勝 準優勝

3回 2回

総合優勝 1回

スポンサー 機械系

UEPURA

ポリカーボネート製キャノピー

MITSUBA

DDモータ&コントローラ



セラミックボール ベアリング



金属部品

SHING KYB TOYOTA Y 18618 Microsoft SCradle



スプリング&ショックアブソーバー

ブレーキディスク

Toray Carbon Magic



Toray Carbon Magic

炭素繊維&CFRPボディ

BRIDGESTONE

低転がり抵抗タイヤ

スポンサー

TORAY

Toray Carbon Magic

高強度炭素繊維素材のご提供

車両製作のご協力。



スポンサー

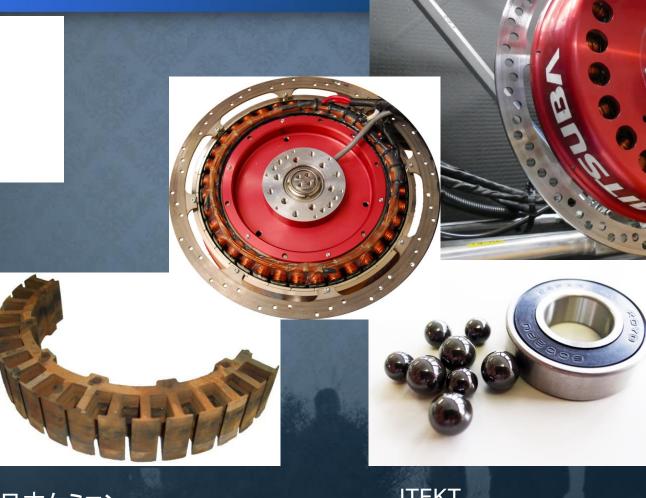
BRIDGESTONE

ソーラーカー用低転がり抵抗タイヤブリヂストン ECOPIA with ologic 95/80 R16



スポンサー

MITSUBA



日本ケミコン 鉄系アモルファス電磁石コア

JTEKT セラミックボールベアリング

スポンサー 流体解析系







株式会社ソフトウェアクレイドル 日本マイクロソフト株式会社

株式会社セック

流体解析ソフトの支援

クラウドコンピューティング プラットフォーム Microsoft Azure の提供 Microsoft Hololens の提供 Microsoft HoloLens の提供







ビジュアルテクノロジー 株式会社

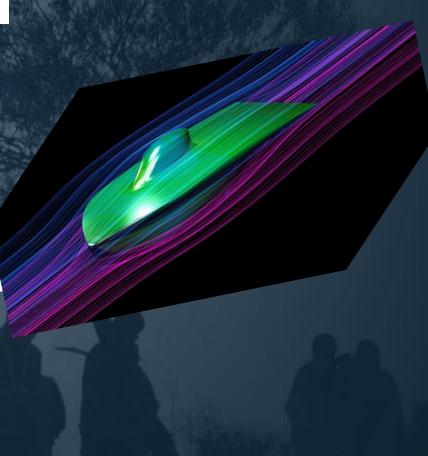
空力シミュレーション用 Intel社製大容量メモリ搭載 計算機の貸与

菱洋エレクトロ株式会社

空力シミュレーション用 Intel社製大容量メモリ搭載 計算機の貸与

ダッソー・システムズ株式会社

CADソフトウェアの提供





Toray Carbon Magic

BRIDGESTONE

































UEPURA















サポート

小山工業高等専門学校鹿野研究室 有限会社フジアロイ 株式会社プロテクタ 九重電気株式会社 有限会社沼田製作所 東海大学情報理工学部情報科学科 長研究室 中島研究室 東海大学情報理工学部コンピュータ応用工学科竹村研究室 東海大学理学部数学化山本研究室 東海大学工学部機械工学科砂見研究室 ソーラーカーチームOB・OG 東海教育産業株式会社



2017年大会の傾向

4チーム

Mono-hull 単胴型



Michigan

他接合化合物系太陽光電池 2.64m²

4チーム

大多数のチームが集中

Catamaran 双胴型



15

Cambridge

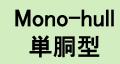
Nuon

2019年大会の傾向

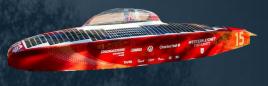
Tokai

NITech Solar Racing

9チーム







Michigan





OVERVIEW



Top Dutch

他接合化合物系太陽光電池 2.64m²



Stanford

シリコン 4m²

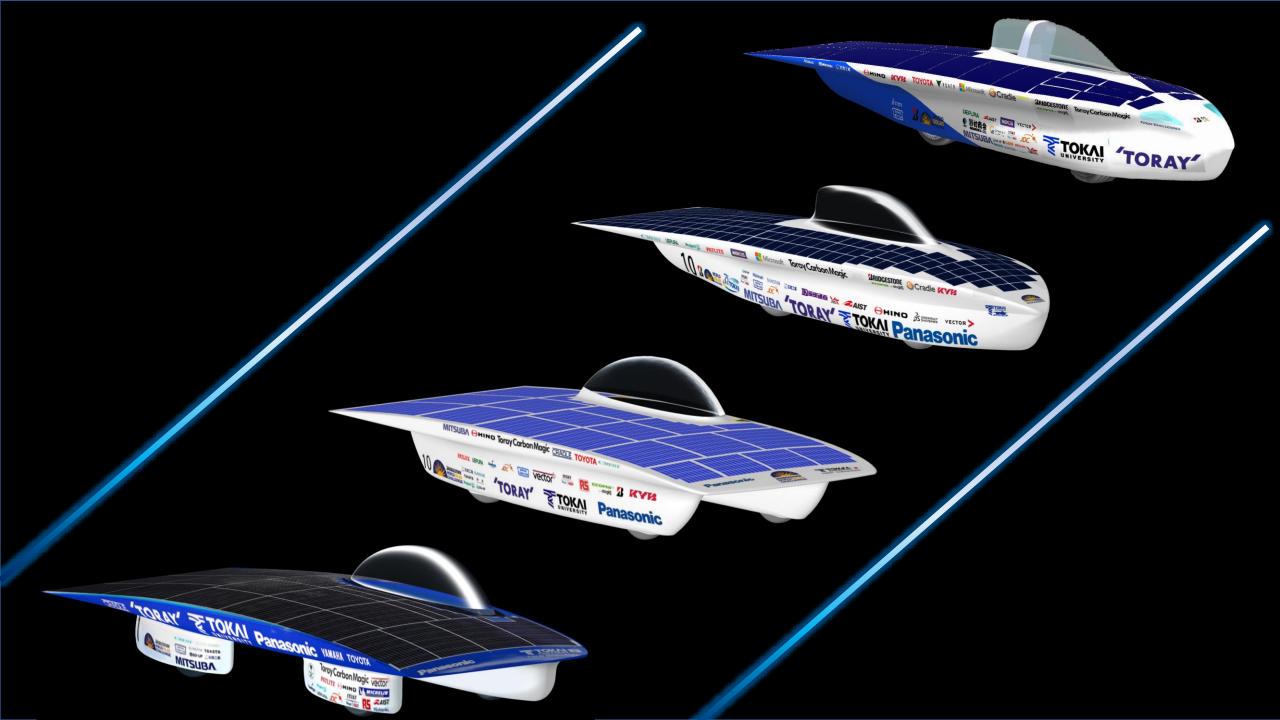
> Catamaran 双胴型









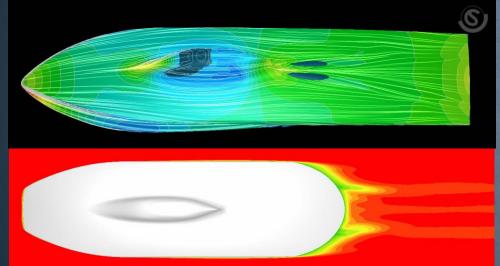


空力開発

空力性能比較

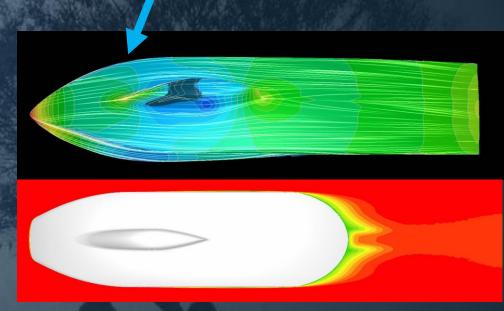
上図:圧力・オイルフロー(表面)、乱流エネルギー(等値面)

下図: 床面から500mm位置での全圧分布





> 先端形状を変更



17年型は15年型から約25%以上の空気抵抗の低減(風洞試験の実測定結果)

解析技術の向上詳細な形状の再検討



空気抵抗のさらなる低減 横風性能のさらなる向上 実性能の向上の追求

空力開発

2017年大会で車体の内部の流れの重要性を実感



車体の内部への流入、タイヤ周りの流れに着目



車体への空気流入を抑え、実性能も向上

インテル® サーバーシステム

データセンター向けに最適化された製品をお客様のニーズに合わせ提供



特長

- 最新のプラットフォームに常に対応し、 お客様のご要望に対応するため様々な フォームファクターを用意
- Intel内部で事前にシステムレベルでの 厳格なテストと広範囲に及ぶ検証を実施済る

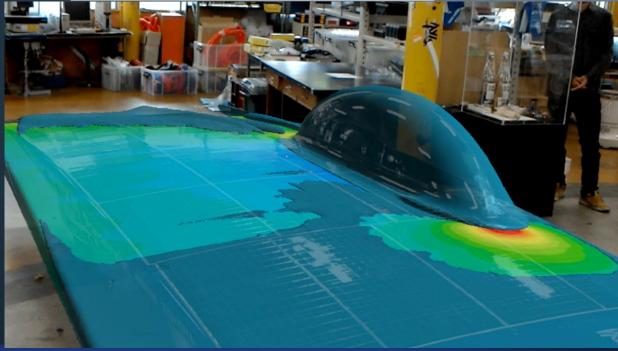
TB級超大規模演算処理

HoloLens活用の動画イメージ

Microsoft HoloLensのソーラーカー開発への適用



提供 日本マイクロソフト株式会社 株式会社セック



13TCで作成した動画





発電体勢

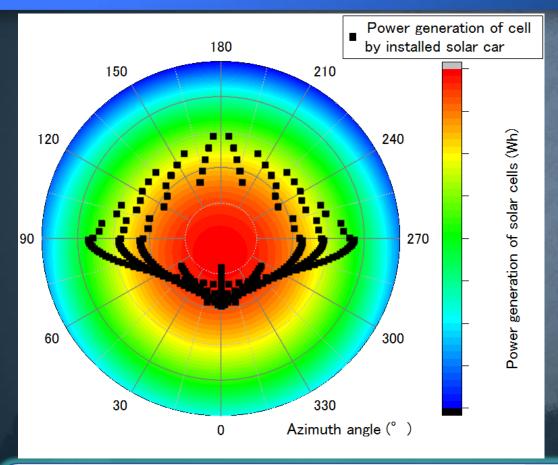
上部ボディの傾け機構の大幅改善

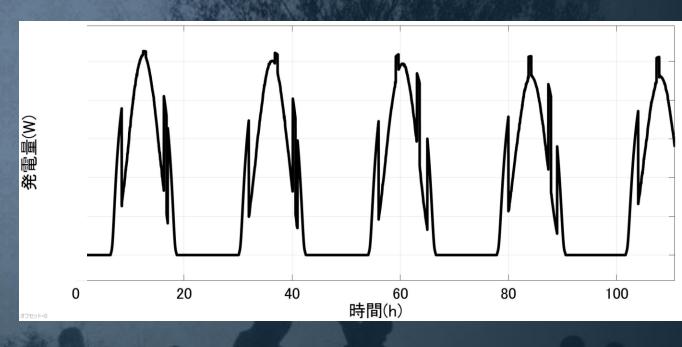


17TC

19TC

発電予想モデルの構築



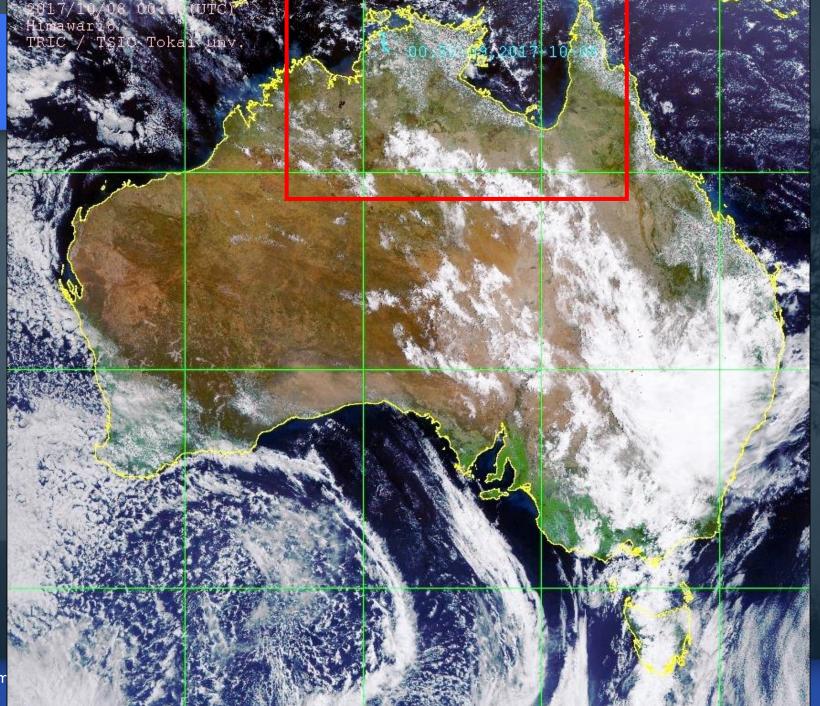


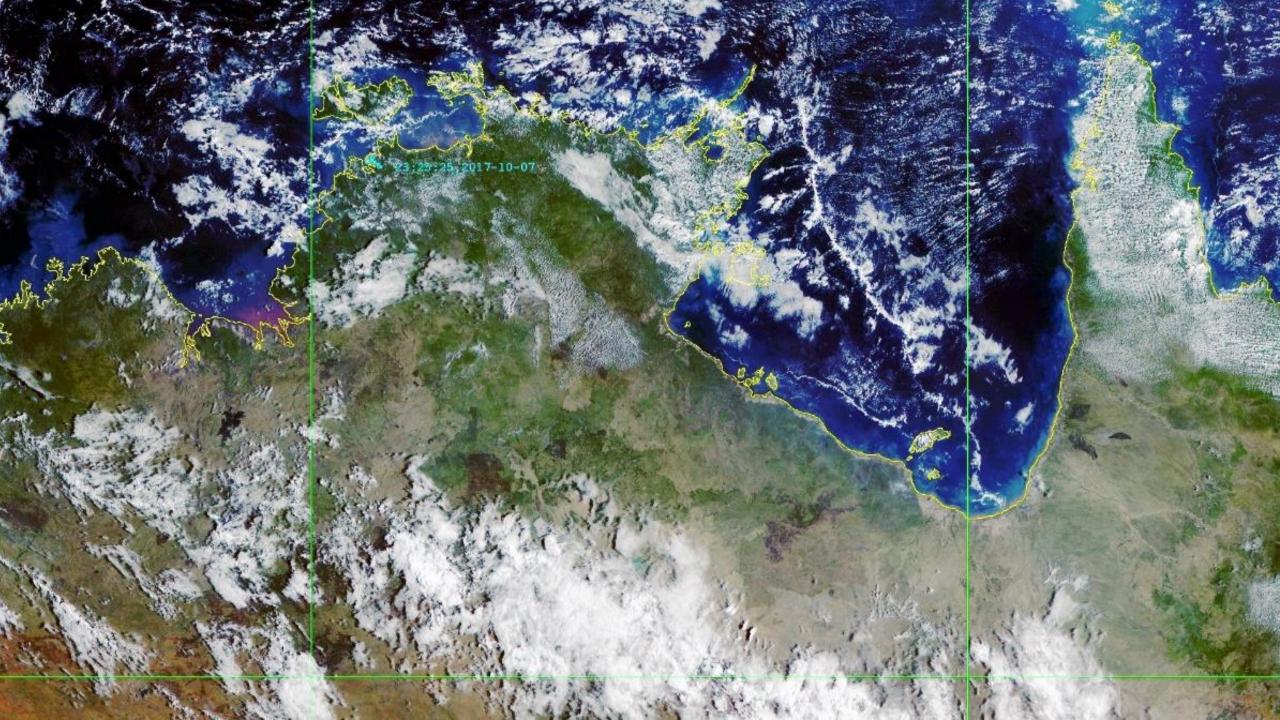
- ・ソーラーセルごとの方位, 角度
- ・オーストラリア3000kmを走行中のソーラーカーの向きを考慮しています

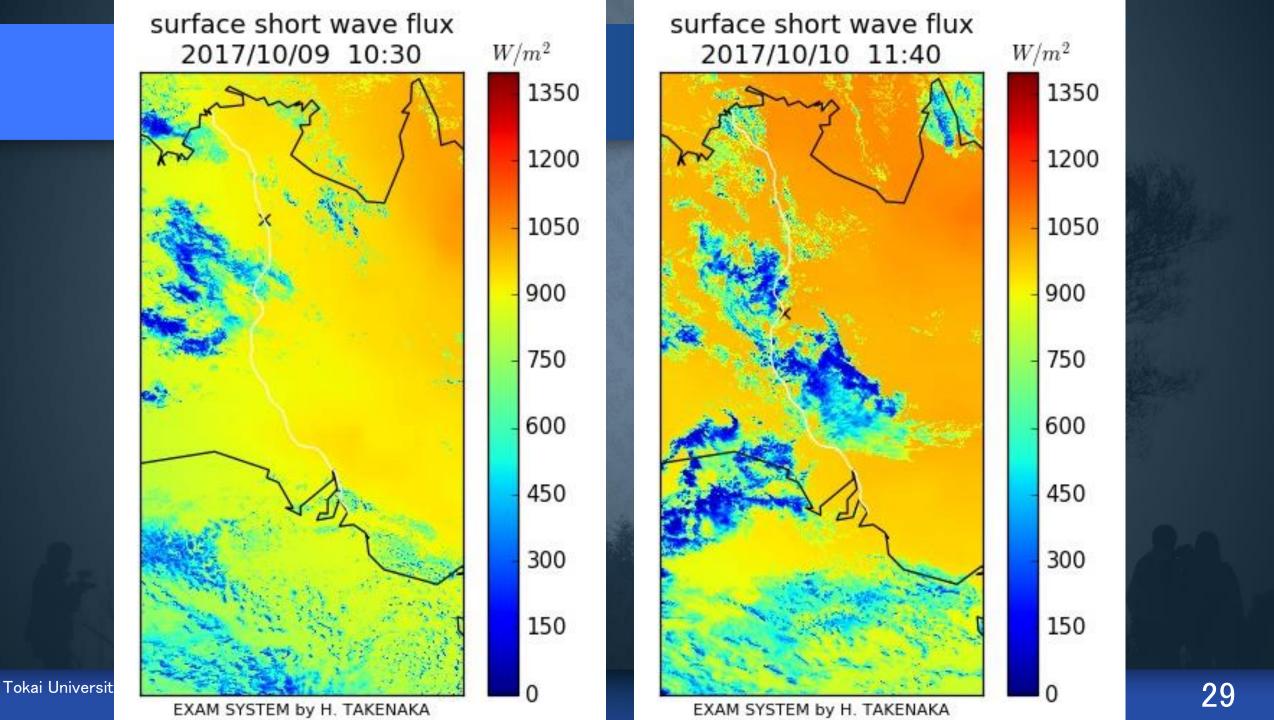
ブリヂストン様テストコースにて(8月31日、9月1日)



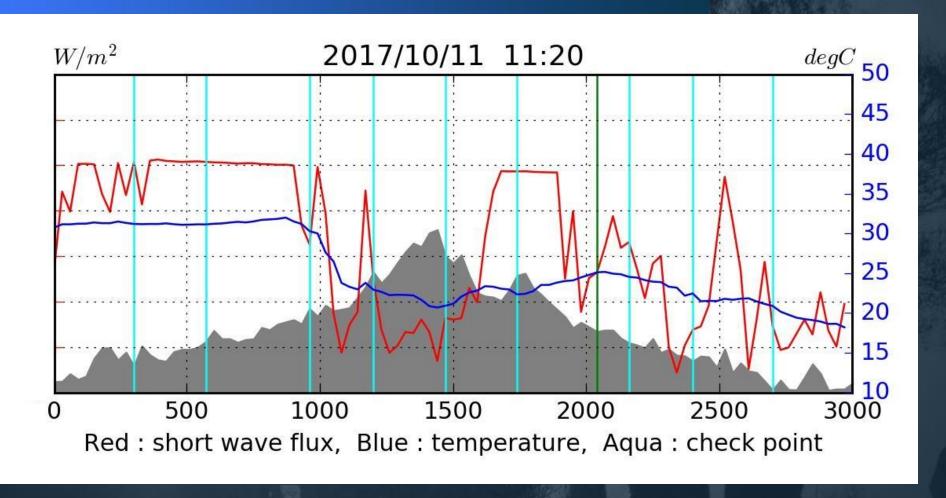
衛星画像







日射量情報

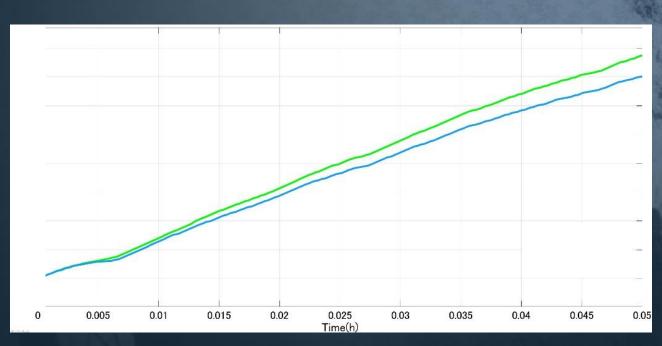


3,000km分の日射量を知ることができる

秋田県大潟村ソーラースポーツラインでのテスト走行

BRIDGESTONE

タイヤの耐久性能などを評価するロングランテスト(5月26日、27日)





チーム体制

▶学生代表 武藤 創 (工学部 動力機械工学科4年)

▶遠征メンバー 留学生を含めた27名

>チーム 総監督 佐川 耕平(工学部 電気電子工学科 助教)

▶監督 木村 英樹(工学部 電気電子工学科 教授)

▶監督 福田 紘大(工学部 航空宇宙学科 准教授)

>コーディネーター 村井 健太郎(東海大学チャレンジセンター)

>ソーラーカードライバー

佐川 耕平 (工学部 電気電子工学科 助教)

シッド・ビッカナーバー (NASA JPL)

小野田 樹晃(工学部動力機械工学科3年)

伊坪 岳陽 (工学部 電気電子工学科 2年)

今後の予定



輸送をご支援いただくことで、9月下旬の空輸直前まで車体のアップデートが可能

秋田試走(今週末)

本番を想定し、 タイヤ交換、レース運用、 コントロールポイントでの誘導 練習などを行う



遠征日程

10月7日

10月12日

10月13日

10月20日

静的車検

動的車検

レース開始

表彰式





